

受験番号

# 2024 年度 一般選抜 I 期 入学試験問題

## 国 語 (50 分)

### 注 意 事 項

1. 「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で 8 ページです。印刷不鮮明などの箇所があった場合は申し出てください。
3. 答えは解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 使用する問題冊子と解答用紙の指定欄に**受験番号**（数字）を必ず記入してください。
5. 解答作業には必ず**黒の鉛筆**（HB 以上）または**シャープペンシル**を使用し、ボールペンや色鉛筆などを使ってはいけません。
6. 試験終了後に、解答用紙、次に**問題冊子**を回収します。問題冊子の余白や裏面は、**下書きに使用してもかまいません**。  
解答用紙は破ったり、汚したりしないでください。
7. 「やめ」の合図で、すぐに筆記用具を置き、静かに待っててください。

一

次の文章は中村明の『日本語の美―書くヒント』の一部です。但し設問の都合上、一部改変してあります。これを読んで以下の問に答えなさい。

著作権の関係により掲載することができません

著作権の関係により掲載することができません

問一 文章中の空欄1～7には文章A～Gが入ります。最も適する順番に並び替えて、そのうち空欄2・4・7に入るものを記号で答えなさい。

問二 文章中の傍線部①～⑭の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

- |       |      |      |       |        |      |      |
|-------|------|------|-------|--------|------|------|
| ① 充実  | ② 利口 | ③ 明晰 | ④ 正確  | ⑤ 思考内容 | ⑥ 精度 | ⑦ 観念 |
| ⑧ 切迫感 | ⑨ 厳密 | ⑩ 多彩 | ⑪ 小手先 | ⑫ 側面   | ⑬ 真意 | ⑭ 誤解 |

問三 次の文は文章A～Gのいずれかの直後に入ります。どの文章の直後に入れるのが最も適切か記号で答えなさい。

逆に言えば、すぐれたことばの姿をとおしてしか、すぐれた内容というものを知ることはできないのである。

二

次の文章は平松洋子の『なつかしいひと』の一節です。但し、設問の都合上一部改変してあります。これを読んで以下の間に答えなさい。

著作権の関係により掲載することができません

著作権の関係により掲載することができません

問一 文章中の傍線部①～⑩をカタカナなら漢字に直し、漢字ならその読みを平仮名で楷書で書きなさい。

問二 文章中の傍線部(ア)～(エ)の本文中での意味として最も適するものをア～オの中から選び、記号で答えなさい。

①  
そぞろに

- ア ゆつくりと
- イ さつさと
- ウ 淋しげに
- エ 何となく
- オ 軽やかに

イ おぼつかない

- ア 気が動転する
- イ 気が散っている
- ウ 忘れている
- エ あやふやである
- オ 悲しい

ウ 通奏低音

- ア 曲全体が短調の調べであること
- イ 華やかにあざやかに目立つもの
- ウ 一曲分をじっくり演奏し尽くすこと
- エ 目立たずに影響を与え続けるもの
- オ 周囲に響き渡る低音であること

エ 訝しむ

- ア 残念に思う
- イ 気づいて慌てる
- ウ 不審に思う
- エ 名残惜しむ
- オ ふと思い出す

問三 文章中の傍線部A「寂しげに届く」とありますが、それはどうしてですか。次のア～オの中から最も適するものを選び、記号で答えなさい。

- ア バイオリンの稽古の音色からこどもの頃のわたしの稽古風景を思い出し、その頃からの失われた時間が物淋しく感じてしまうから。
- イ 稽古が始まる時刻がわかっていて、毎日聞いているにもかかわらず、演奏している人も曲の題名もわからないから、わたしが愚かに感じてしまうから。
- ウ 暗くなりつつあり一日が終わろうとしている夕暮れ時に、つたない単純な音色で短調の曲を聴いているから。
- エ いつも決まった時刻に稽古が始まるのに、稽古をしている人は一人でバイオリンを演奏しているので、友だちがいないのだと感じてしまうから。
- オ バイオリンの稽古の音色から、子どもの頃の賑やかな家族を思い出し、一人暮らしの自分自身生活に人恋しさを感じてしまうから。

問四 文章中の傍線部B「かすかな緊張」とありますが、これを文章中では別の言葉で表現しています。最も適切な六字以上十字以下の表現を文章中から抜き出して書きなさい。



問五 文章中の傍線部C「耳をそばだてる」とありますが、そのようになるのは端的にどうしてですか。次のア～オの中から最も適するものを選び、記号で答えなさい。

- ア 音色が寂しげだから。
- イ だんだんやるせなくなってくるから。
- ウ みようにおぼつかないから。
- エ 心が揺さぶられるから。
- オ 前日に訝しんだから。